



京都発、舞台芸術の未来を創造する現場へ — KYOTO EXPERIMENT インターン募集

京都発の国際舞台芸術祭「KYOTO EXPERIMENT」をスタッフと共に運営するインターン(フェスティバル運営コース、テクニカルコース、広報コース)を募集します。2010年に始まった「KYOTO EXPERIMENT」は、演劇・ダンスという既存の枠組みにとらわれず、舞台芸術の未来のためのフェスティバルとして、世界各地から先鋭的な舞台芸術作品を紹介しています。フェスティバルの現場に触れることは、今後も舞台芸術に携わりたいと考えている方はもちろん、そうでなくとも社会人として貴重な体験となることでしょう。

KYOTO EXPERIMENTを共に作りあげていくことにチャレンジして下さる方のご応募をお待ちしています。

◎ **募集内容** | (A) フェスティバル運営コース (B) テクニカルコース (C) 広報コース

◎ **募集対象**

- 舞台芸術、アート、デザインに興味がある方
- フェスティバルの運営、広報に興味がある方
- 舞台芸術の制作、あるいはアートマネジメントに興味がある方
- 舞台技術(舞台監督、照明、音響、大道具、技術マネジメント)に興味がある方
- 語学スキルを活かしたい方(英語、その他外国語)

◎ **研修概要** | 2015年10月～2016年4月、7ヶ月間 (フェスティバル開催期間：2016年3月5日～27日予定)

(A) **フェスティバル運営コース**

期間	10月・4月…週2日(原則 5時間/日、休憩含む) 11～2月…週3日(原則 5時間/日、休憩含む) 3月[フェスティバル開催期間]…週5日(原則 8時間/日、休憩含む)
内容	・公演制作補助(受付業務、関連企画の運営、サポートスタッフ運営補佐、等) ・広報業務補助(印刷物・DM等の発送作業、等)

(B) **テクニカルコース**

期間	下記を除く10～4月…週2日程度(原則 5時間/日、休憩含む) 3月[フェスティバル開催期間]…週5日(原則 8時間/日、休憩含む)
内容	・テクニカルコーディネーター補助 (会場入り前の打ち合わせ・手配の補佐、舞台美術の制作補佐、舞台設営・リハーサルの進行の立会・補佐、公演本番の進行補佐、等) *2月までは概ねフェスティバル運営コースと同じ研修内容となります

(C) **広報コース**

期間	10～3月…週3日程度(原則 5時間/日、休憩含む) 4月…週2日程度(原則 5時間/日、休憩含む)
内容	・広報業務補助 (広報物の編集・校正・配架補佐、簡易チラシ等の制作、ウェブサイト・SNS等のコンテンツ制作・運用、取材対応・記者会見実施補佐、プロモーションイベント(ブックフェア、ツアー等)の立案・実施、等)

(A)フェスティバル運営コース、(B)テクニカルコース、(C)広報コース 共通研修内容

- ・事務局運営補助(電話対応、来客対応、チケット販売、ミーティングの進行補佐、等)

*進路や年度による都合は応相談

*勤務時間は下記KYOTO EXPERIMENT事務局営業時間内で応相談

10～12月 平日10:00-19:00 / 1～2月 10:00-20:00 / 3月[フェスティバル開催期間] 10:00-22:00 / 4月 平日10:00-19:00

*原則土日祝は休日ですが、フェスティバル開催期間中はその限りではありません。

◎ 採用条件

18歳以上
期間中(表面参照)の出勤が可能なこと
基本的なPCスキルがあること
事務局スタッフの一員としての自覚と責任を持って仕事ができること
自主性と向上心を持って仕事に臨めること

◎ 待遇

交通費の一部を支給
傷害保険に加入
研修スケジュールに応じてフェスティバルの公式プログラム公演が観劇可能

◎ 募集人数

若干名

◎ 勤務地

KYOTO EXPERIMENT事務局(京都市中京区) *フェスティバル開催期間中は市内各劇場での作業もあり

◎ 選考方法

書類選考の後、面接を行います。
書類選考の結果は、9月中旬にご連絡します。
面接は9月下旬、採用のお知らせは9月末頃を予定しています。

◎ 応募方法

所定の応募用紙を公式ウェブサイト(www.kyoto-ex.jp)よりダウンロードもしくはKYOTO EXPERIMENT事務局で受け取り、必要事項を記入の上、同事務局まで郵送してください。直接持参も可能です。FAX、メールでの送付は不可となります。
KYOTO EXPERIMENT事務局営業時間 / 7月 平日11:00-17:00、8・9月 平日11:00-19:00

◎ 募集締切 | 2015年9月11日(金) 消印有効

インターン経験者より

任期を終えて思い返されるのは、事務局の組織の一員として過ごす日々自体に大きな価値があったということです。KYOTO EXPERIMENTは舞台芸術に対して多種多様な熱い想いを抱いた人達が集っている場所です。この業界に興味のある人ならそんな中で一緒に仕事をして面白くないわけがないんです。そして、業務は日々の細かいことからプレッシャーを感じるくらいやりがいのある仕事までピンキリでした。本当にリアルで贅沢な経験だったと思います。この経験は必ず、観客側からは見えることの無かった舞台芸術の面白さ、舞台制作の魅力を知るチャンスとなるはずですよ。

(多摩美術大学卒業生でフェスティバル運営コース)

舞台美術に興味があったのがきっかけではありましたが、インターンの最中に、演目一つについても様々な役割があることを知り、それを見て体験することでより広い視点から舞台を考えるようになりました。ほとんど知識のない状態でテクニカルインターンとして参加しましたが、会期前の準備からはじまり、会期中の現場のあれこれまで全体の流れを身をもって体験できました。ある期間だけではなく、初めから通して見ていくことができるのはとても貴重な体験だと思います。

(京都工芸繊維大学3回生でテクニカルコース)

インターンのその後の活躍

京都国際舞台芸術祭事務局での登用実績有り。

その他、公共ホール、地域のアートフェスティバルなど、様々な舞台芸術をはじめとするアートの現場で活躍されています。

応募先・お問合せ

KYOTO EXPERIMENT事務局「2016 SPRING インターン募集係」(担当:村上)
〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2 京都芸術センター内
TEL 075-213-5839(7月 平日11:00-17:00 / 8・9月 平日11:00-19:00)
E-mail info@kyoto-ex.jp www.kyoto-ex.jp